

# 2013年3月期 決算説明会

2013年4月26日

株式会社デンソー

1. 日本、北米、豪亜地域の車両生産の増加により  
前年比で増収増益

2. 配当は、期末は37円、年間では前年より  
18円増加の64円

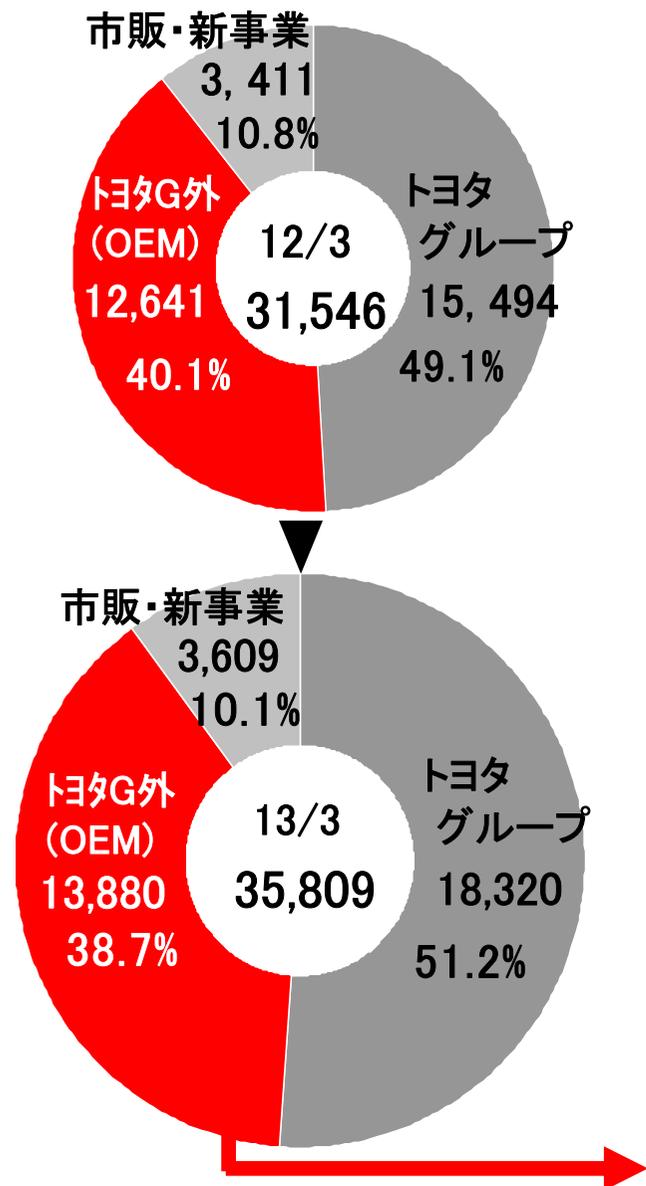
3. 来期は、車両生産台数の増加や円安の  
追い風により増収増益

( )内は売上高比

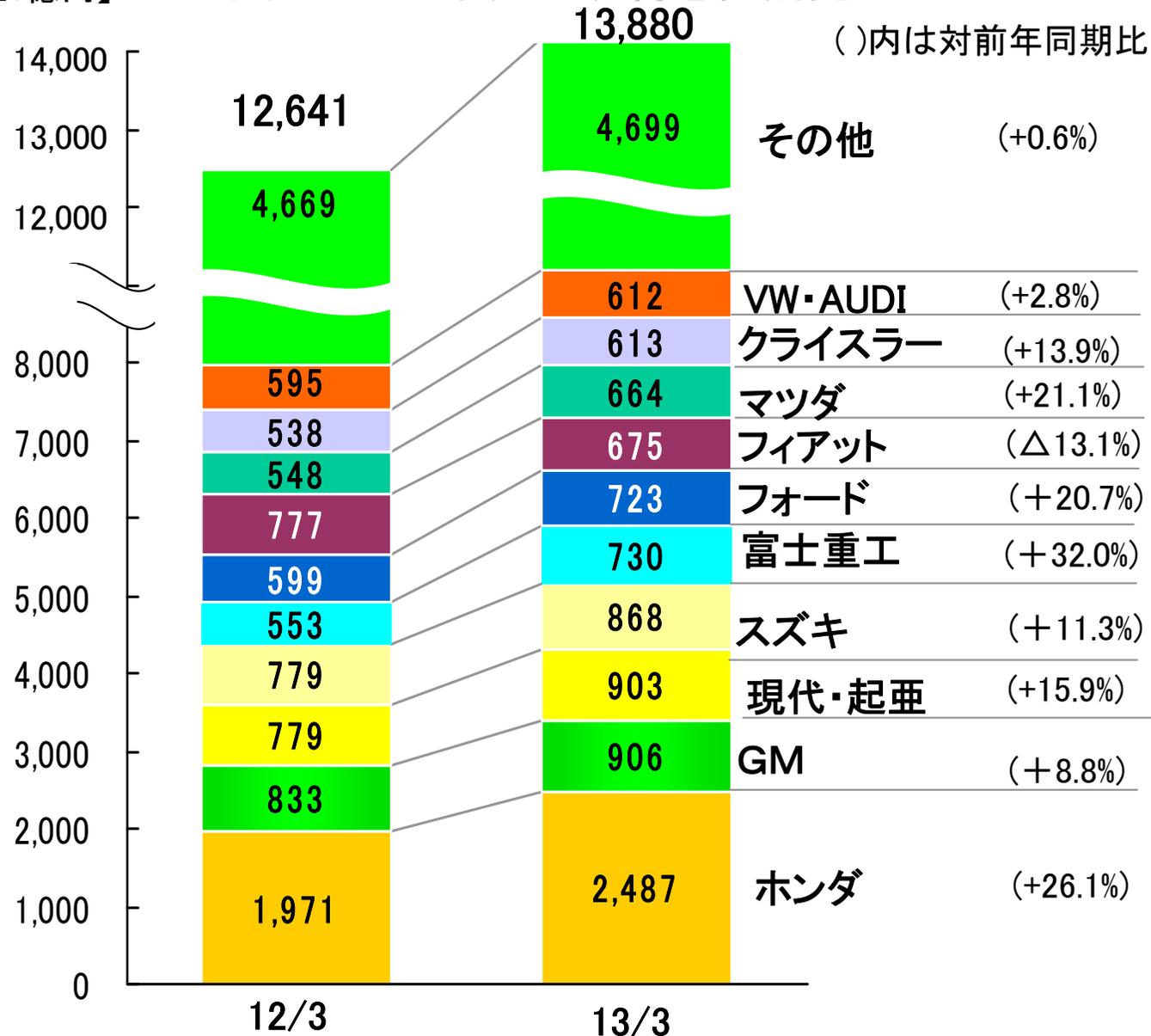
【単位:億円】

	13/3期実績	12/3期実績	増減額	増減率
売上高	35,809	31,546	+ 4,263	+ 13.5%
営業利益	(7.3%) 2,624	(5.1%) 1,607	+1,016	+63.2%
経常利益	(8.3%) 2,960	(5.7%) 1,808	+1,153	+63.8%
税引前利益	(7.9%) 2,819	(5.2%) 1,635	+1,184	+72.4%
当期純利益	(5.1%) 1,817	(2.8%) 893	+924	+103.5%
為替レート	83円/ドル 107円/ユーロ	79円/ドル 109円/ユーロ	4円 円安 2円 円高	
国内車両生産	919万台	889万台	+ 30万台	+ 3.4%
海外日系車生産 (内、北米)	1,663万台 (502万台)	1,465万台 (395万台)	+ 198万台 (+107万台)	+ 13.5% (+27.1%)

## 得意先別

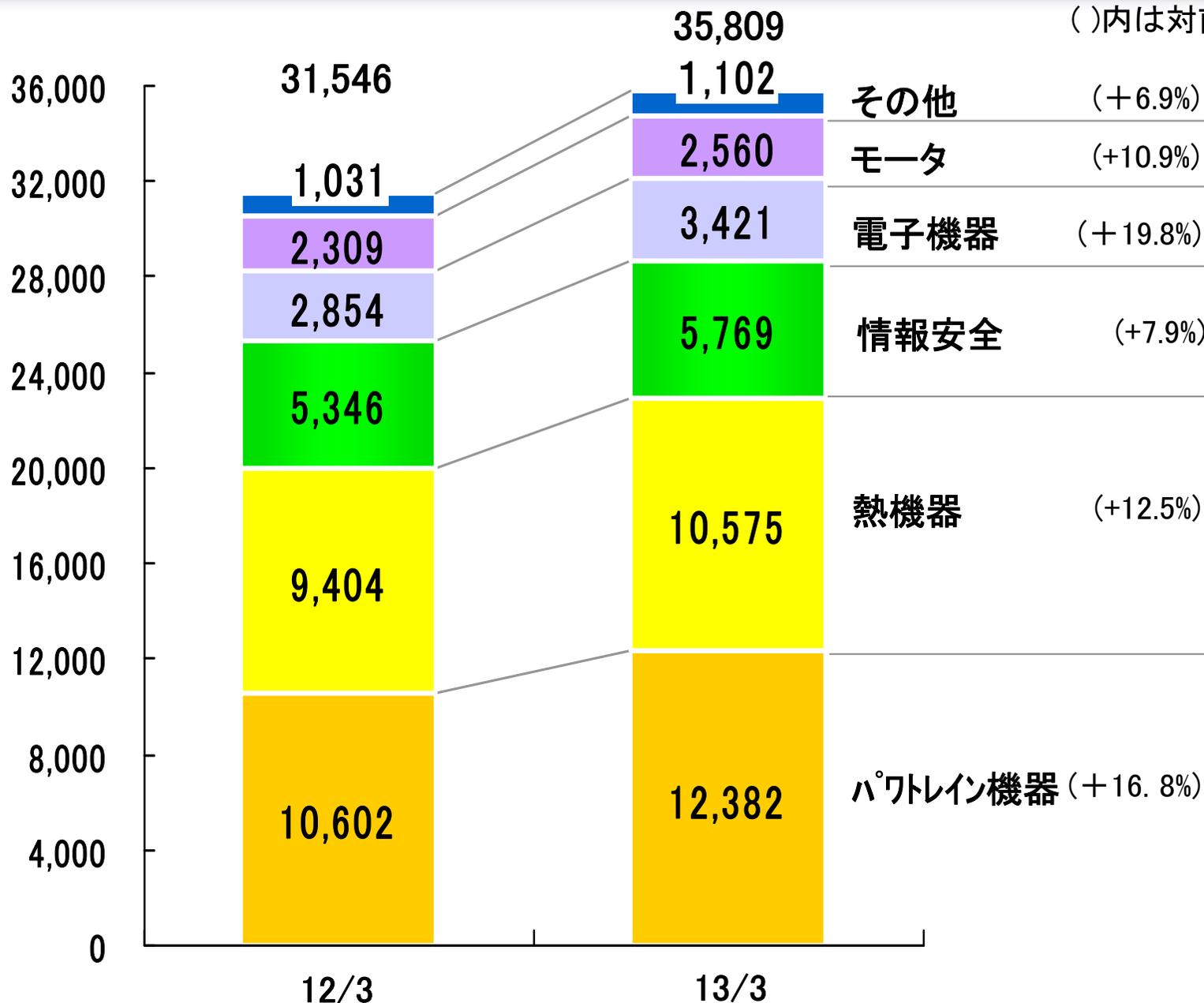


【単位:億円】 トヨタグループ外(OEM) 得意先別売上



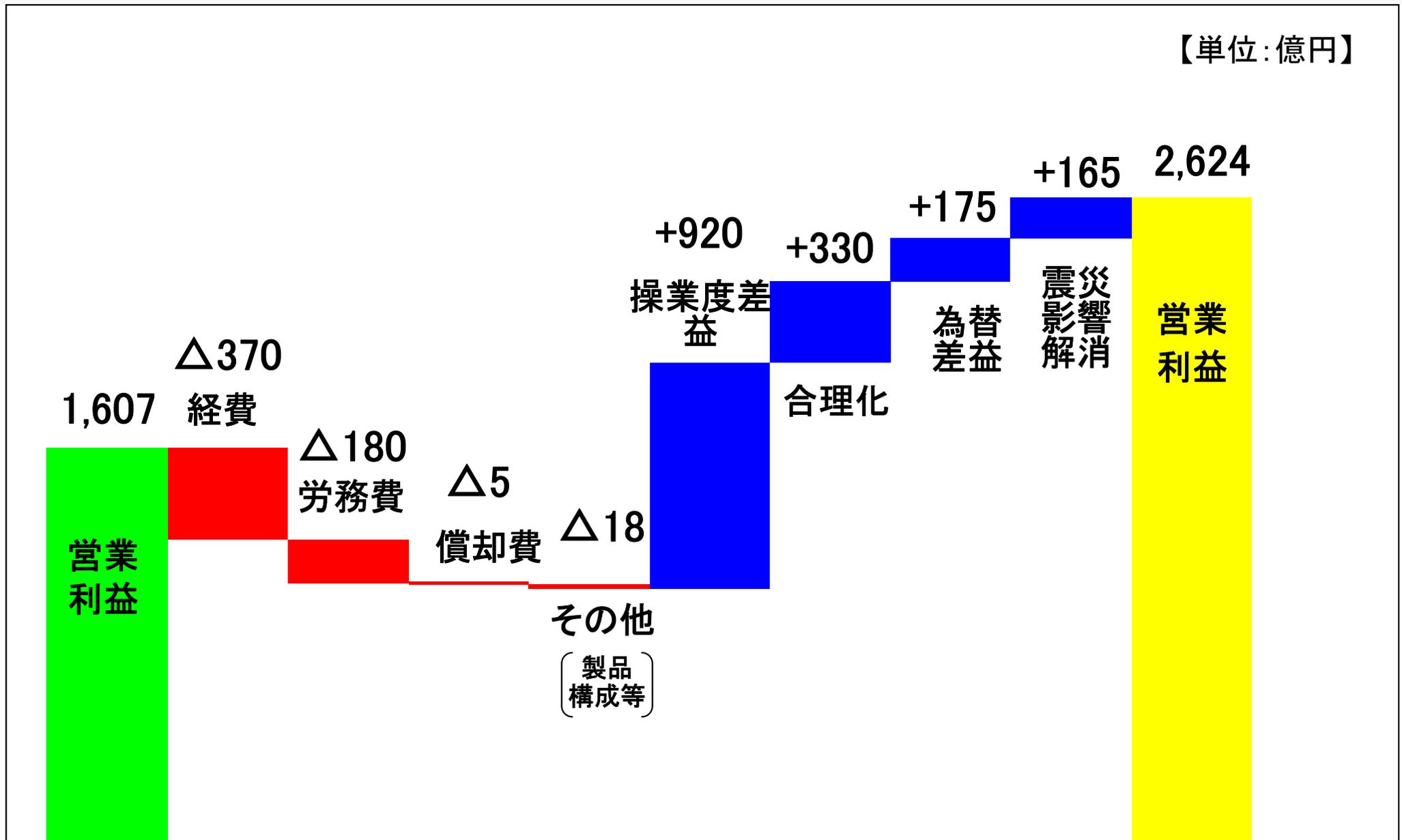
## 製品別

【単位：億円】



# 2013年3月期 営業利益増減要因(前年比)

【単位:億円】



12/3

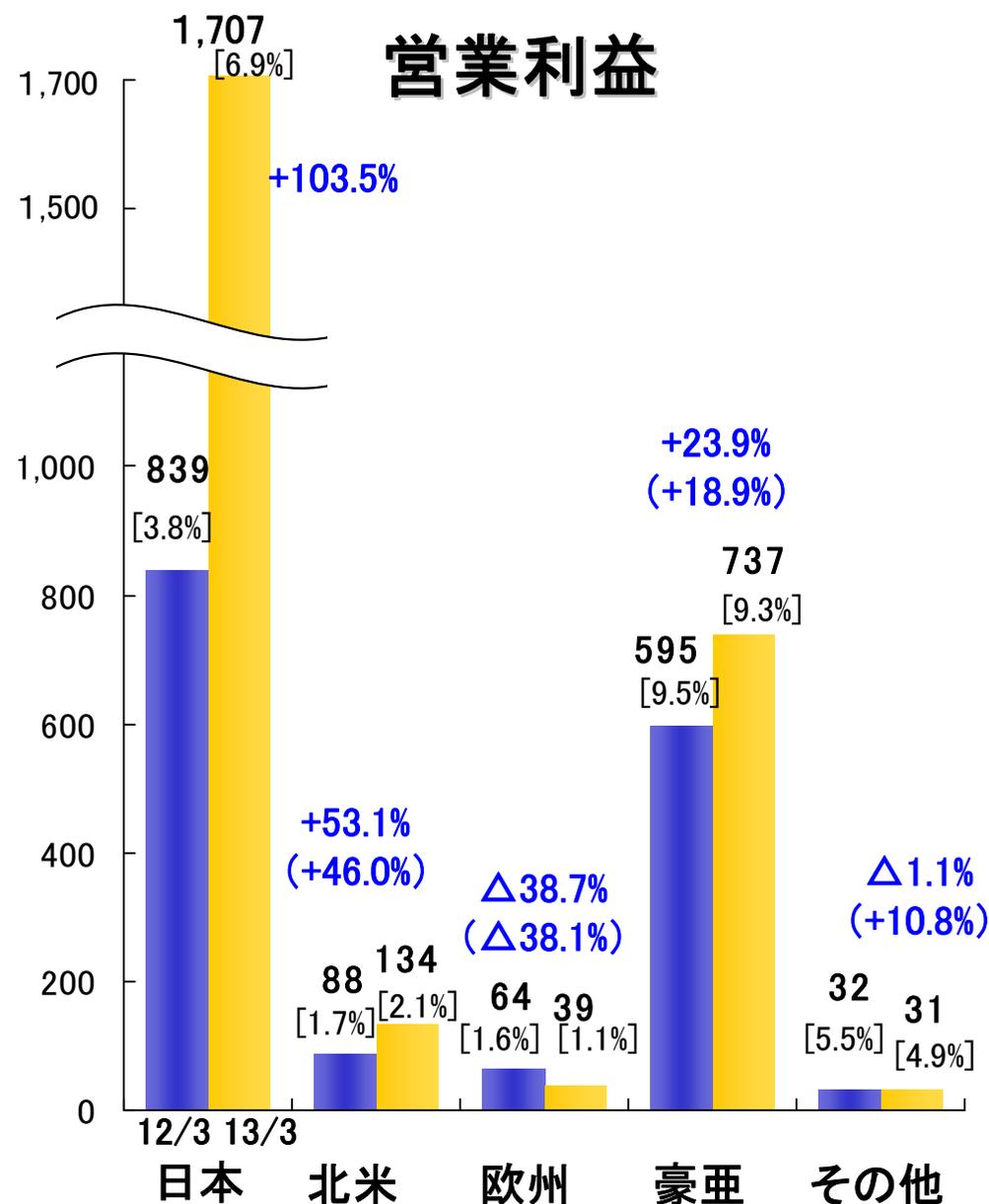
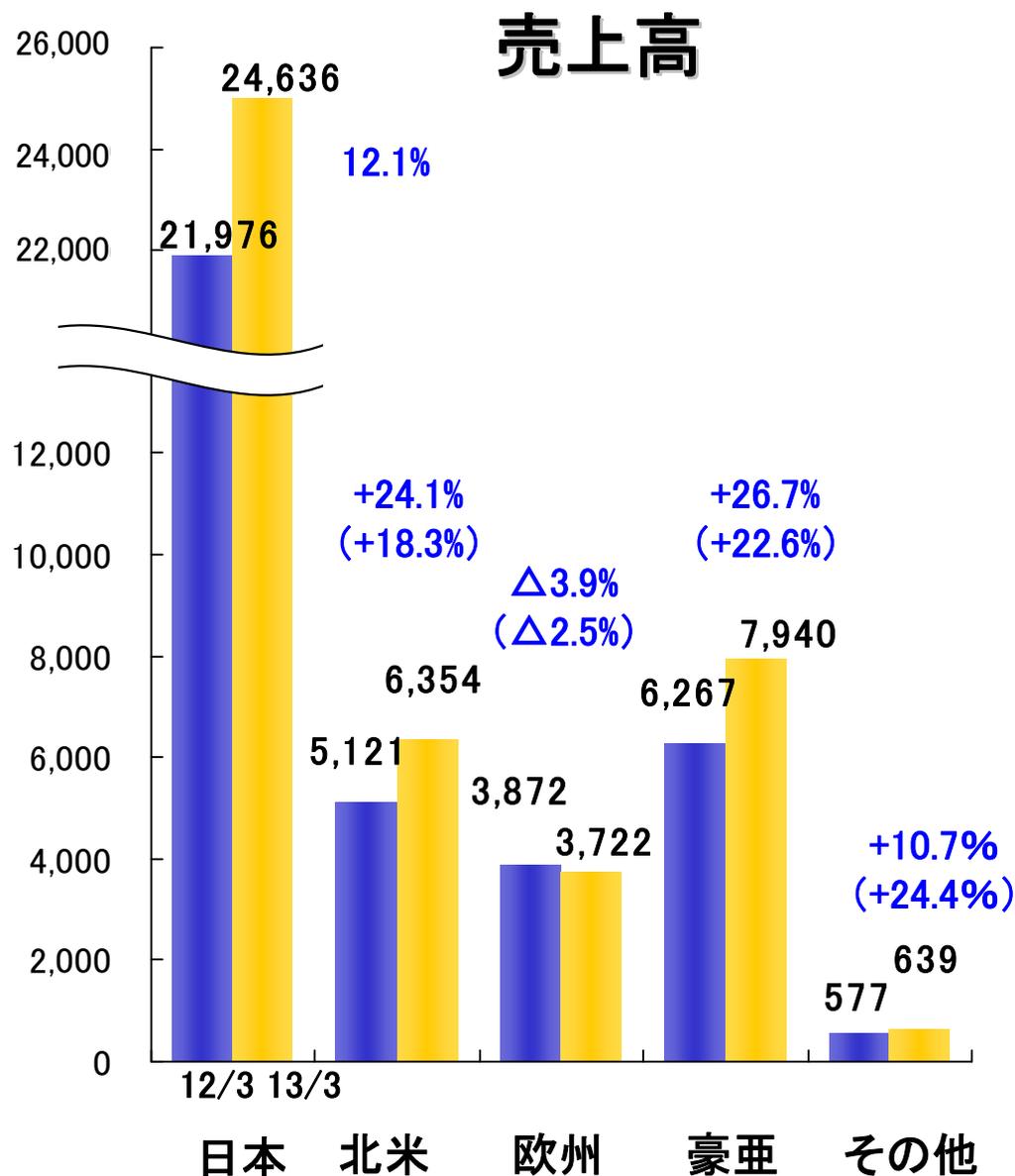
13/3

# 2013年3月期 所在地別セグメント情報(前年比)

【単位：億円】

※増減は円貨ベースで表示  
( )は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[ ]は売上高比



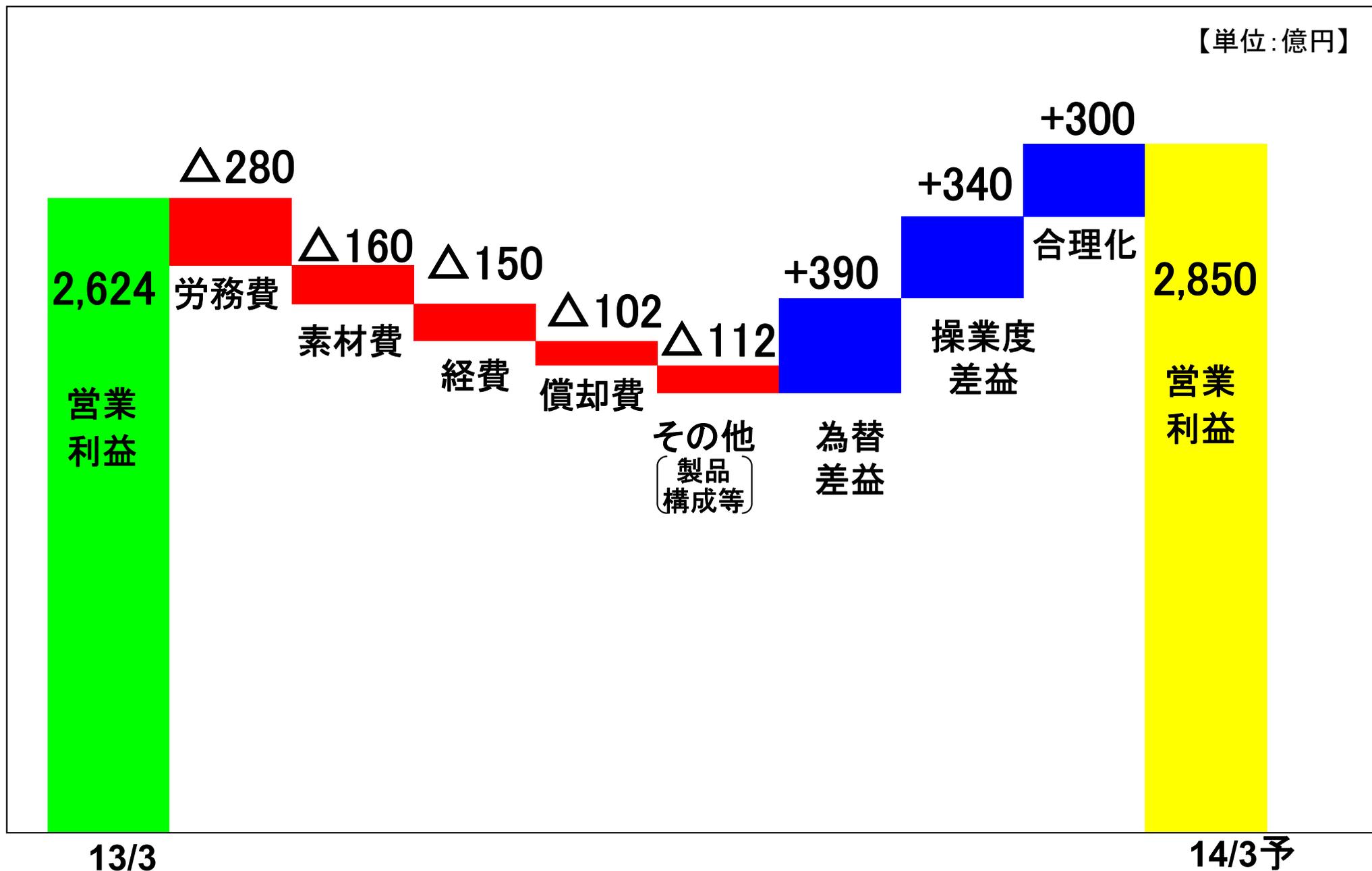
# 2014年3月期 通期予想

07 / 28

【単位：億円】

	14/3期予想	13/3期実績	増減額	増減率
売上高	38,000	35,809	+2,191	+6.1%
営業利益	(7.5%) 2,850	(7.3%) 2,624	+226	+8.6%
経常利益	(8.0%) 3,030	(8.3%) 2,960	+70	+2.4%
税引前利益	(8.0%) 3,030	(7.9%) 2,819	+211	+7.5%
当期純利益	(5.1%) 1,940	(5.1%) 1,817	+123	+6.8%
為替レート	90円/ドル 120円/ユーロ	83円/ドル 107円/ユーロ	7円 円安 13円 円安	
国内車両生産	904万台	919万台	▲15万台	▲1.6%
海外日系車生産 (内、北米)	1,769万台 (558万台)	1,663万台 (502万台)	+106万台 (+56万台)	+6.4% (+11.2%)

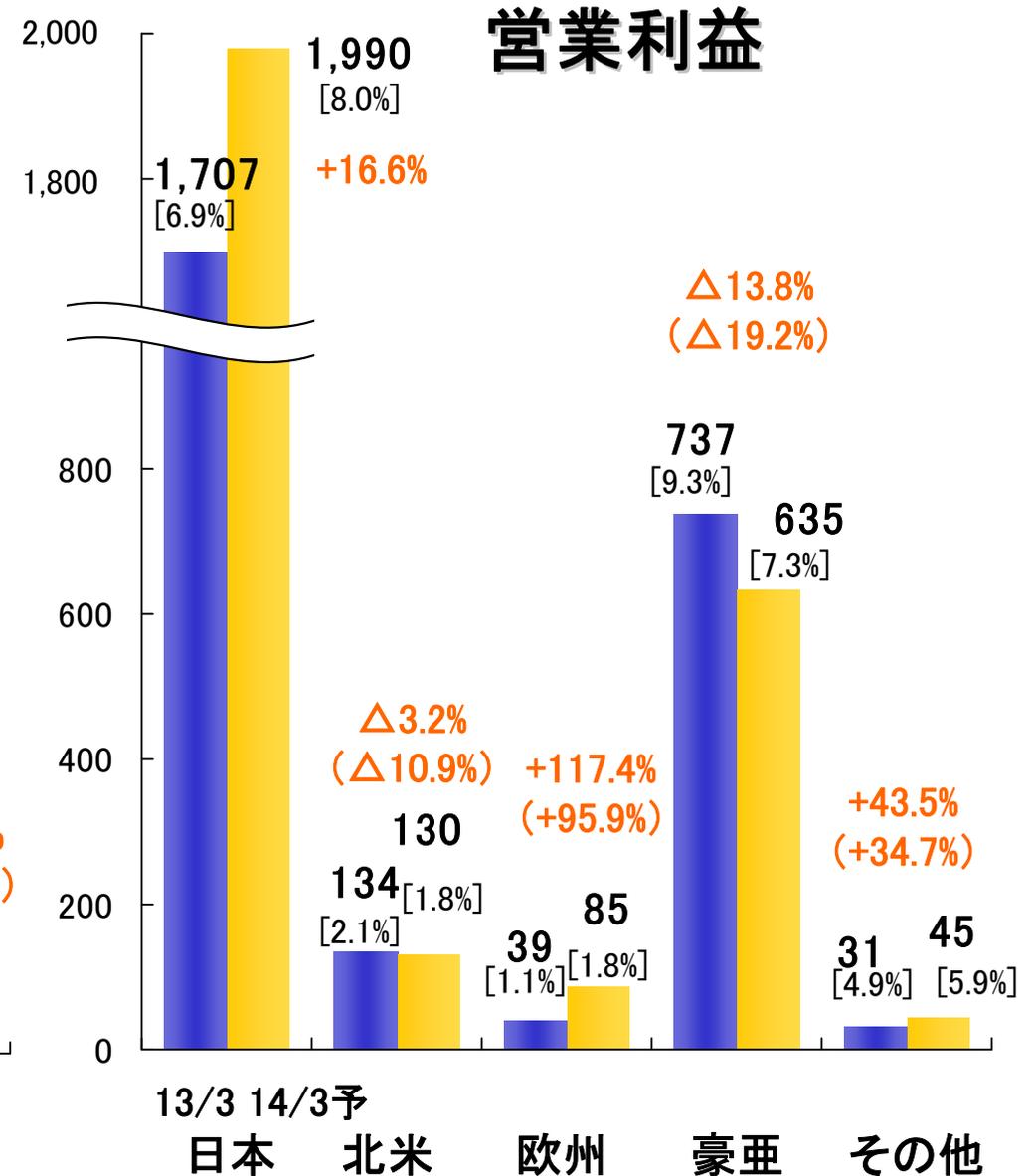
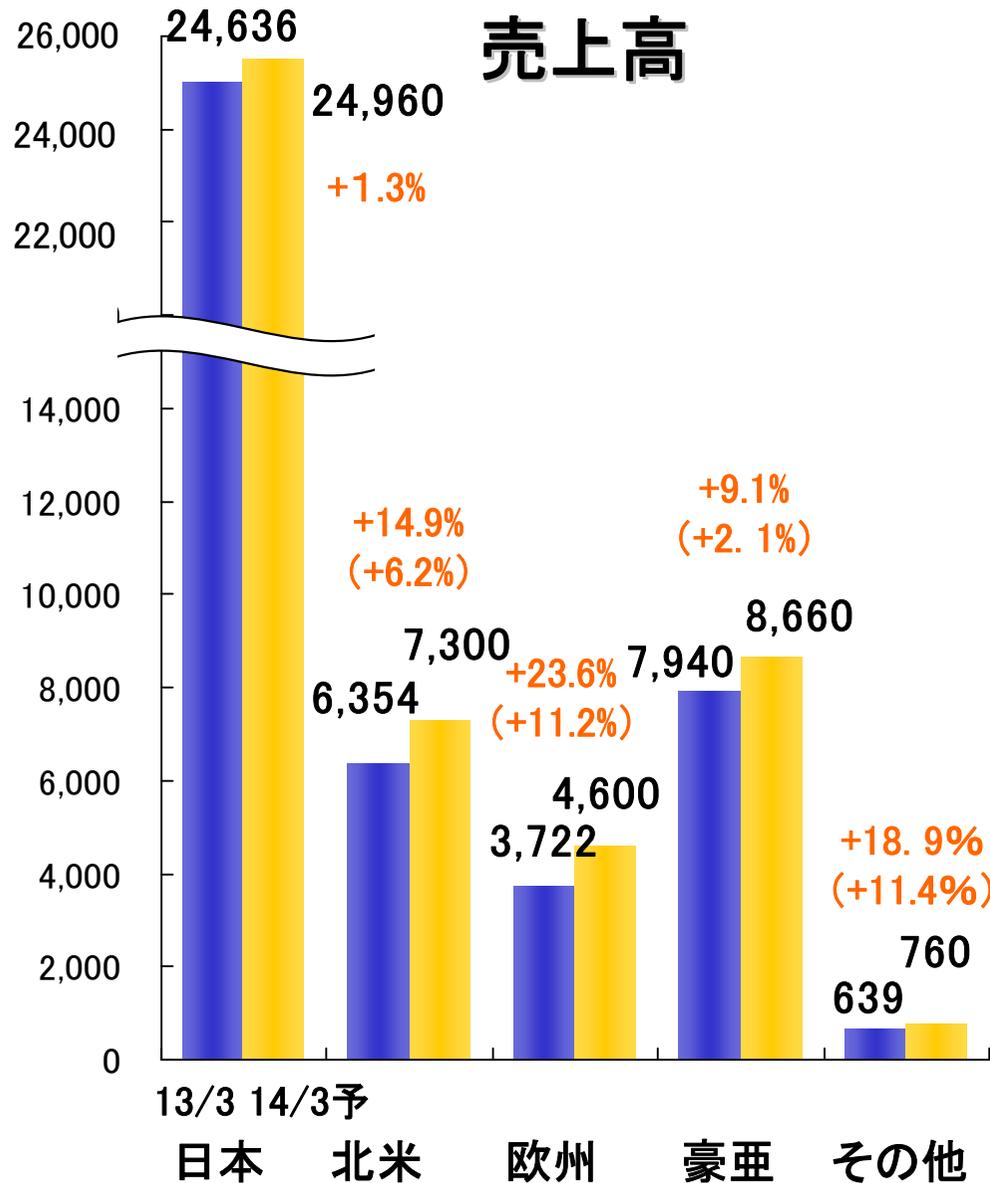
# 2014年3月期 通期予想 営業利益増減要因(前年比)



# 2014年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

【単位:億円】 ※増減は円貨ベースで表示  
 ( )は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[ ]は売上高比



## 1. 2015年中期方針

### 2. 取り組み

- (1) 成長を支える技術開発(省燃費)
- (2) 成長を支える技術開発(安心・安全)
- (3) トヨタTNGA活動への取り組み
- (4) 新興国向け製品開発
- (5) グローバル開発・生産体制

## 3. 2020年長期方針

## デンソーグループ・グローバル中期方針

### 1. 持続的成長に向けた事業拡大へのチャレンジ

- (1) 顧客(カーメーカ)との関係深化と  
成長する新興国市場での事業拡大
- (2) 車の魅力向上に繋がるシステム商品の創出
- (3) 市販事業の拡大と新事業の育成

### 2. 世界初を生み出し続ける企業への進化

- (1) 世界初にこだわる商品開発力の向上
- (2) ダントツのコスト競争力を持つ  
グローバル調達・生産・供給体制の構築

### 3. グローバルな総智総力の発揮とスピード経営の実現

- (1) デンソーグループ12万人の総智総力の結集
- (2) スピード第一で行動する職場・風土への変革

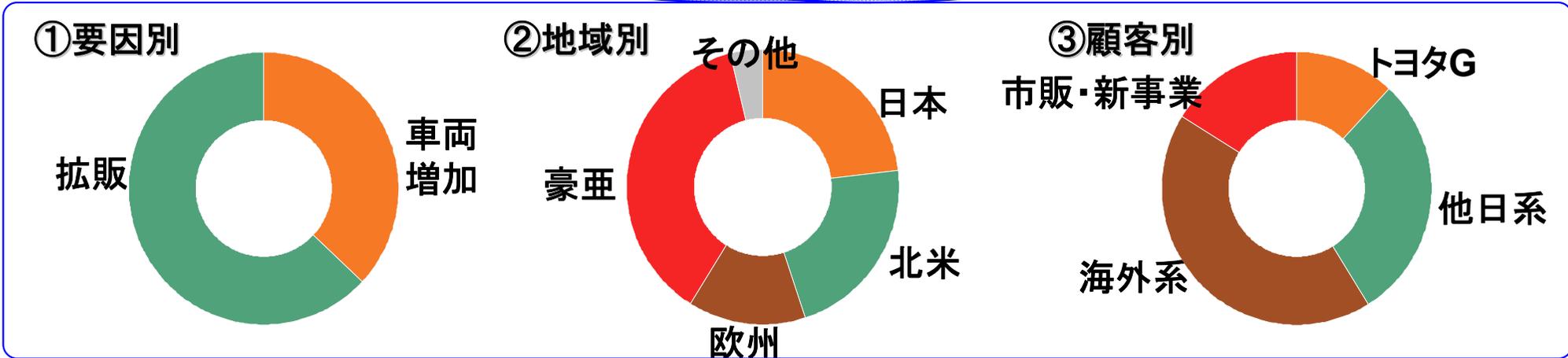
15年目標 “売上高4兆円” “営業利益率8%”

## 2015年(2016/3月期) 目標

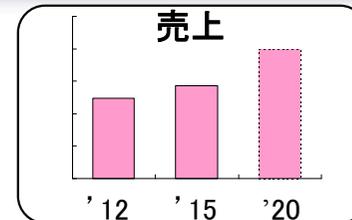
～2012年4月発表～

	12/3期	13/3期	16/3期	増減
世界車両生産	7,900万台	8,294万台	9,960万台	+6%/年
売上高	3兆1,546億円	3兆5,809億円	4兆円	+7%/年
営業利益	1,607億円	2,624億円	3,200億円	
営業利益率	5.1%	7.3%	8.0%	

売上 + 約8,500億円



## 燃費改善・CO2削減に向けたパワートレイン技術



### 小型化

低燃費の小型車  
部品の小型軽量化

### 電動化

ハイブリッド・電気自動車

### システム化

システム間連携による省燃費

#### ➤ 内燃機関エンジンの高効率化

- ・ガソリン直噴
- ・ディーゼルコモンレール

事例



直噴高圧ポンプ

#### ➤ アイドルストップシステムの対応

- ・スタータの始動性/耐久性向上
- ・省燃費システム

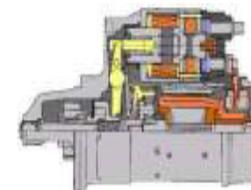


コモンレールシステム

#### ➤ ハイブリッド製品の小型/軽量化

- ・インバータ
- ・モータジェネレータ

事例



タンデムソレノイドスタータ



インバータ

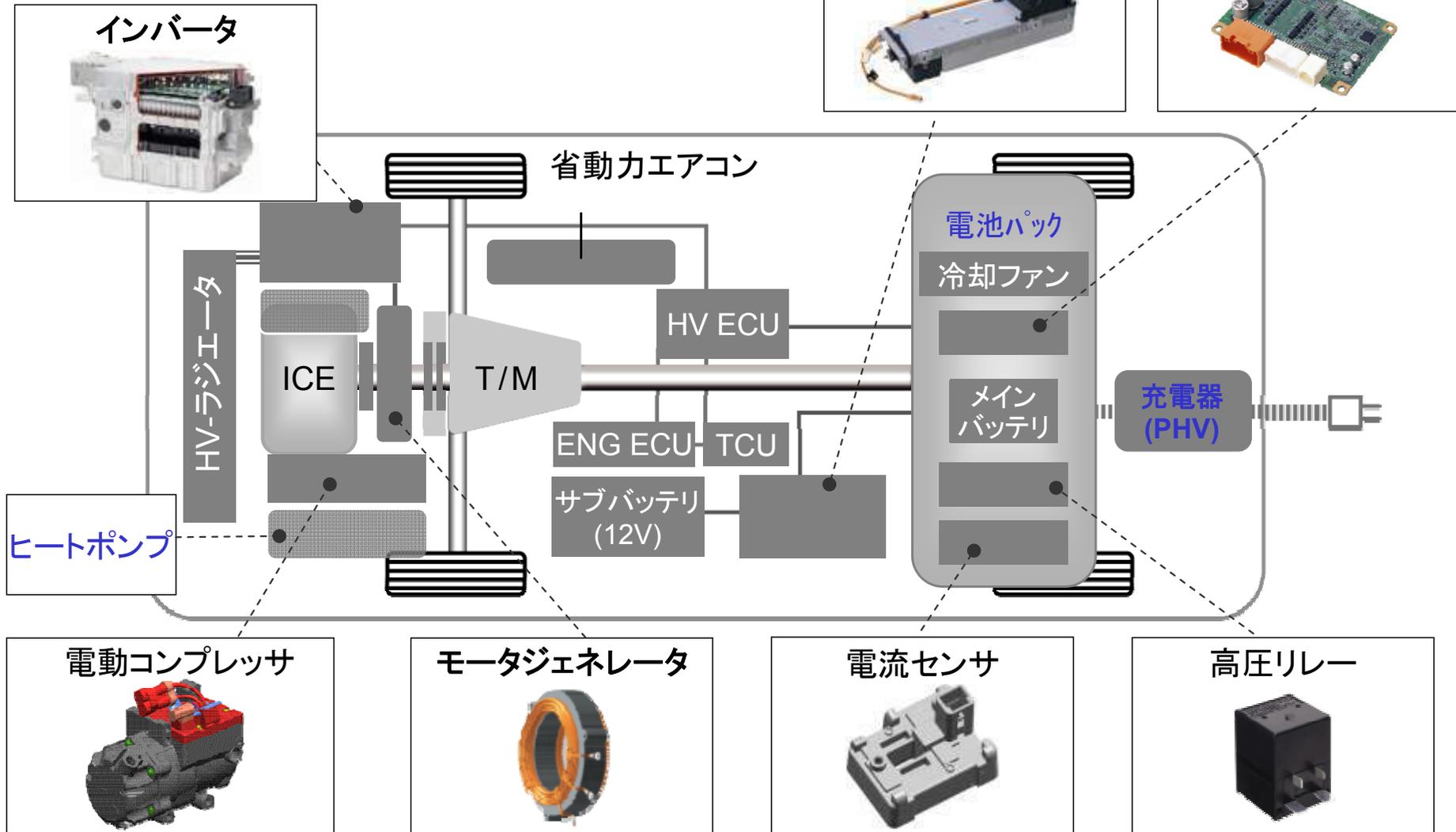
#### ➤ 車全体のエネルギーマネジメント

- ・熱・電カマネジメント



モータジェネレータ

## ハイブリッド車製品の小型・軽量化



新クラウン(インバータ)・アクア(モータジェネレータ用ステータ) に採用

## 内燃機関エンジンの高効率化 - ガソリン直噴・ディーゼル

SKYACTIV-G

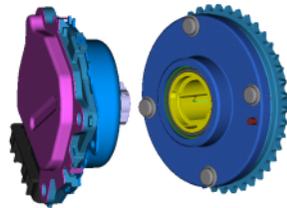
新型直噴エンジン



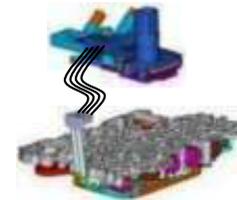
ガソリン直噴システム

SKYACTIV-Drive

新型トランスミッション



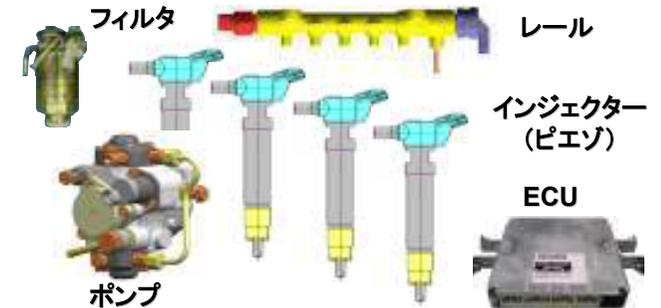
電動 VCT



AT モジュール

SKYACTIV-D

新型ディーゼルエンジン

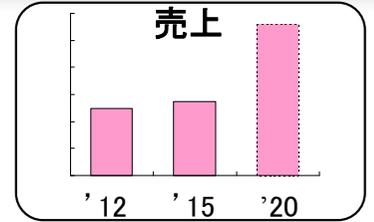


2,000気圧 コモンレールシステム

### マツダ・SKYACTIV に採用

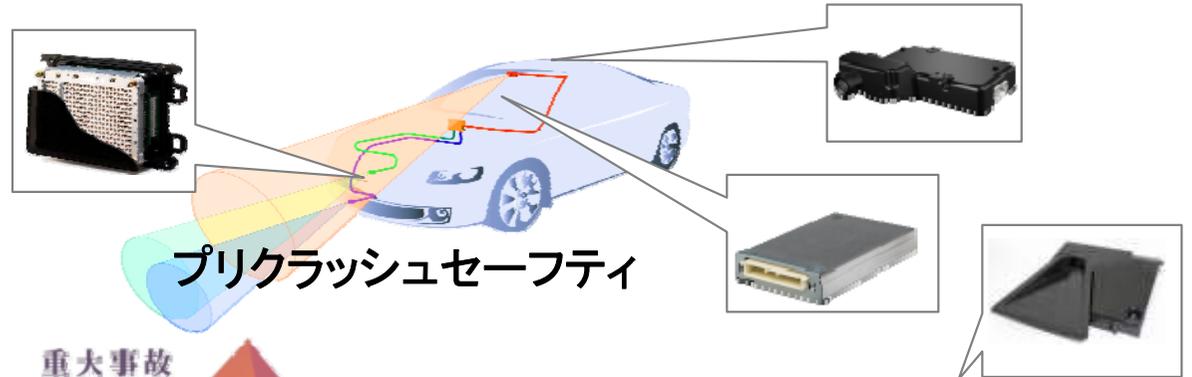
～車両の燃費改善に大きく貢献～

## 安全分野の技術開発



### もしもの安全

緊急時に危険回避  
(万一衝突時は被害軽減)

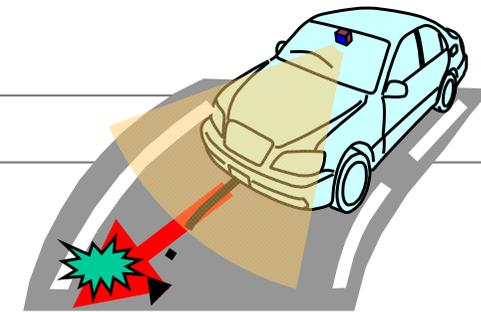


重大事故

軽い事故

ヒヤリハット

苦手 不安



レーン逸脱警報

### いつもの安心

通常時にドライバーの  
心の余裕を育む



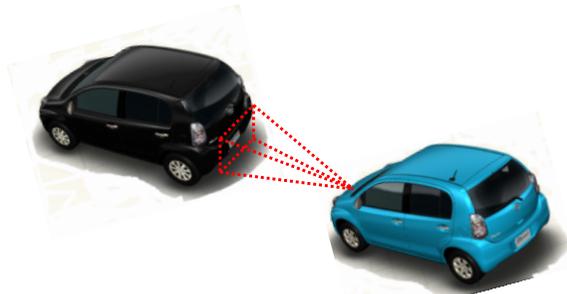
歩行者検知ナイトビュー



ドライバモニタリング

## (事例)ムーヴ（スマートアシスト用レーザーレーダ）

### スマートアシスト（ダイハツ）



- ①低速域衝突回避支援ブレーキ
- ②誤発進抑制制御
- ③先行車発進お知らせ
- ④VSC & TRC

上記システム機能のうち、①～③の前方検知センサとして使用

レーザーレーダが前方を監視。  
認識結果から衝突回避、被害軽減をアシスト



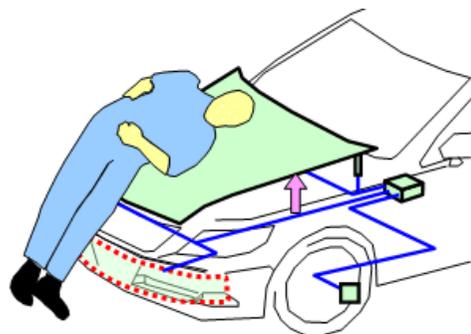
受光窓

投光窓

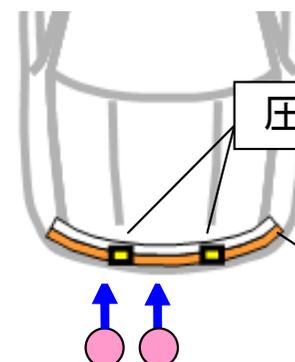
低速域での使用を念頭に機構を簡素化  
小型レンズ・統合ECUにより小型化

## (事例)クラウン（ポップアップフード用センサ）

### ポップアップフード



車両と歩行者が衝突した際、  
フードを瞬時に持ち上げて  
歩行者への衝撃を緩和する



圧力センサー

中空構造体

● : 歩行者

衝突位置が異なる場合でも安定した計測

## デンソーの目指す姿

※TNGA : Toyota New Global Architecture

### <トヨタ TNGA活動>

魅力あるクルマづくり  
〔デザイン・走り〕  
⇒商品力向上

+

原価低減  
⇒共用化・標準化  
⇒開発のスリム化

貢献

### <デンソー>

良いもので  
製品をまとめる

恒久的な  
活動

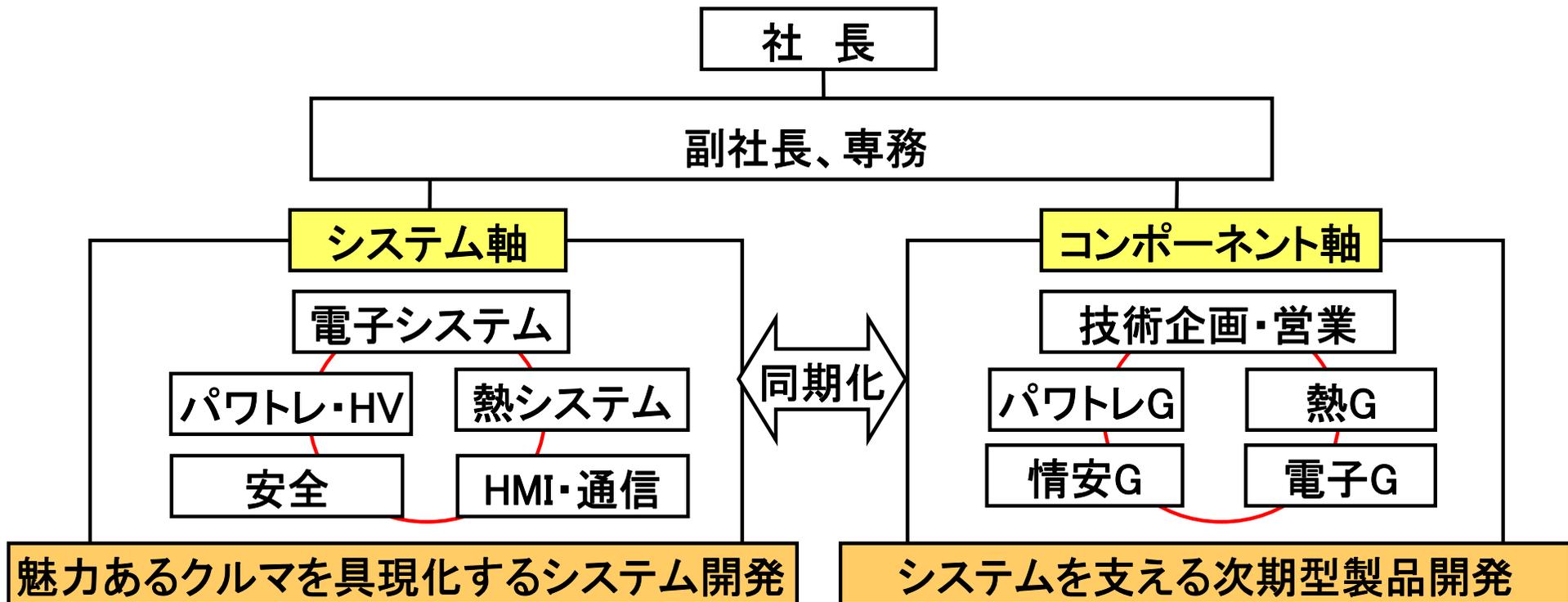
次世代システム・  
コンポーネント開発

共用化・標準化推進による  
価格競争力・品質・開発/生産効率 の向上

次世代開発リソース創出

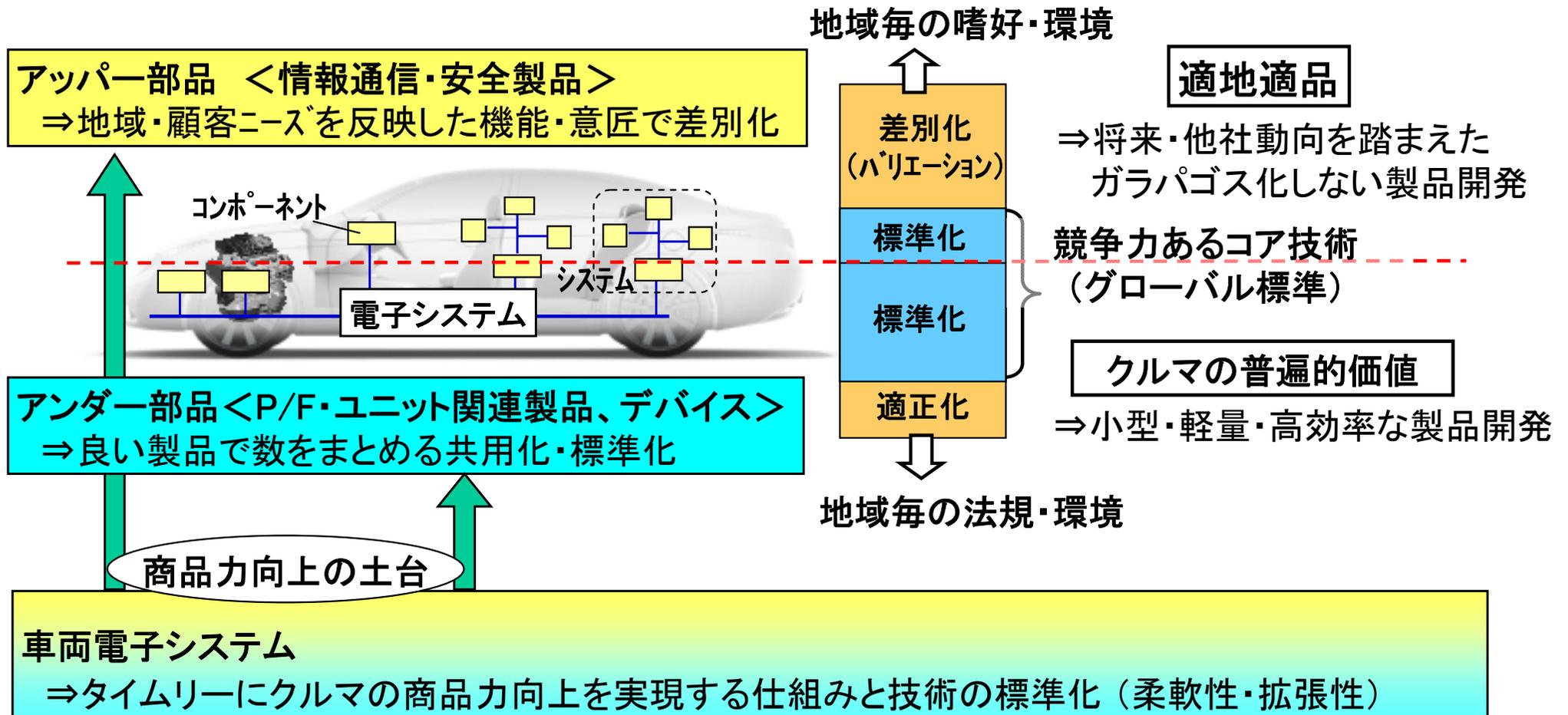
良いもの(世界一の競争力製品)で (標準化要素を入れて)数をまとめる

## デンソーの取り組み ～推進体制



全社を挙げて2つの活動を同時に推進

## デンソーの取り組み ~開発の層別(差別化と標準化)



## 【活動内容】

市場調査  
競合調査

製品開発

モノづくり強化

市場展開

### 【切り口】

① 機能・性能適正化

② 構造適正化

③ 特定品質基準の設定

④ 深層現調化とモノづくり強化

⑤ 開発の現地化

全社プロジェクト

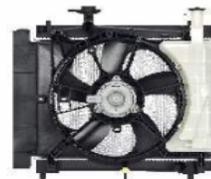
対象: 23製品

## 【採用状況】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
中国		一汽夏利 広汽FIAT		12/6より納入開始 18車種へ採用拡大	
インド					
アセアン		ダイハツ			
南米		トヨタ			

### 一汽夏利に採用 (8製品)

【点火コイル】 【スタータ】 【エンジンECU】 【ラジエータ&電動ファン】 【HVACユニット】



【インジェクタ】  
【O2センサ】  
【VCT】  
【電子スロットル】  
【オルタネータ】

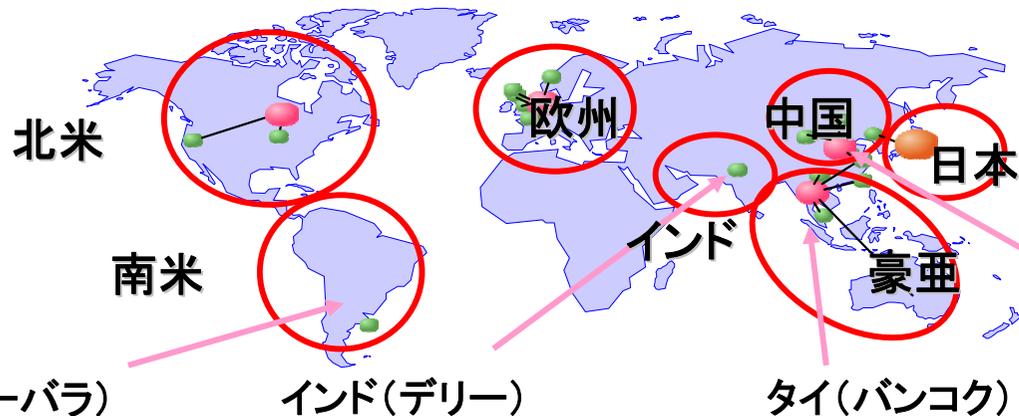
### 広汽 FIAT に採用 (3製品)

【ラジエータ&電動ファン】 【HVACユニット】 【ワイパ】

市場・顧客ニーズに合った製品提供により新興国モータリゼーションに貢献

## コアテクニカルセンター(T/C)とサテライト拠点

コアT/C	日本	北米 ミシガン	欧州 ドイツ(アーヘン)	豪亜 タイ(バンコク)	中国 上海	インド デリー	南米 サンタバーバラ
サテライト 拠点	国内G会社 韓国	テネシー、 カルフォルニア	イギリス、 イタリア、チェコ スウェーデン	ベトナム、フィリピン、 オーストラリア他	華北、西安、 華南、台湾	—	—



12年7月設立



12年3月設立



実験設備補強中



移転・拡充(予定)

**7地域での最適なグローバル開発体制**

## インド<ハリアナ・ジャジャール工場>

投資額 : 約42億円  
生産開始 : 2013年7月  
従業員数 : 450人(2013年7月計画)  
面積 : 建屋面積12,000㎡  
業務内容 : 小型モーター、エンジンクーリングモジュールの製造販売



## メキシコ<シオ工場>

投資額 : 約45億円  
生産開始 : 2013年10月  
従業員数 : 400人(2015年計画)  
面積 : 建屋面積25,600㎡  
業務内容 : カーエアコンの製造



## 設備投資計画<13年度> 2,600億円

(前年比+294,+13%)

- ・日本 1,300 (+67)
- ・北米 320 (+115)
- ・欧州 210 (+19)
- ・豪亜 700 (+74)
- ・その他 70 (+29)

グローバルネットワーク  
215社  
(35の国と地域)

## インドネシア<ファジャール工場>

投資額 : 約94億円  
生産開始 : 2014年2月  
従業員数 : 1,300人(2016年3月計画)  
面積 : 建屋面積24,000㎡  
業務内容 : エンジンECU、VCT、スタータ、オルタネータの製造



## ブラジル<サンタバーバラ工場>

投資額 : 約38億円  
従業員数 : 342人(2012年6月現在)  
面積 : 建屋面積30,200㎡  
業務内容 : カーエアコン、クーリングモジュールの製造  
(2012年9月より)スタータ、ワイパの製造



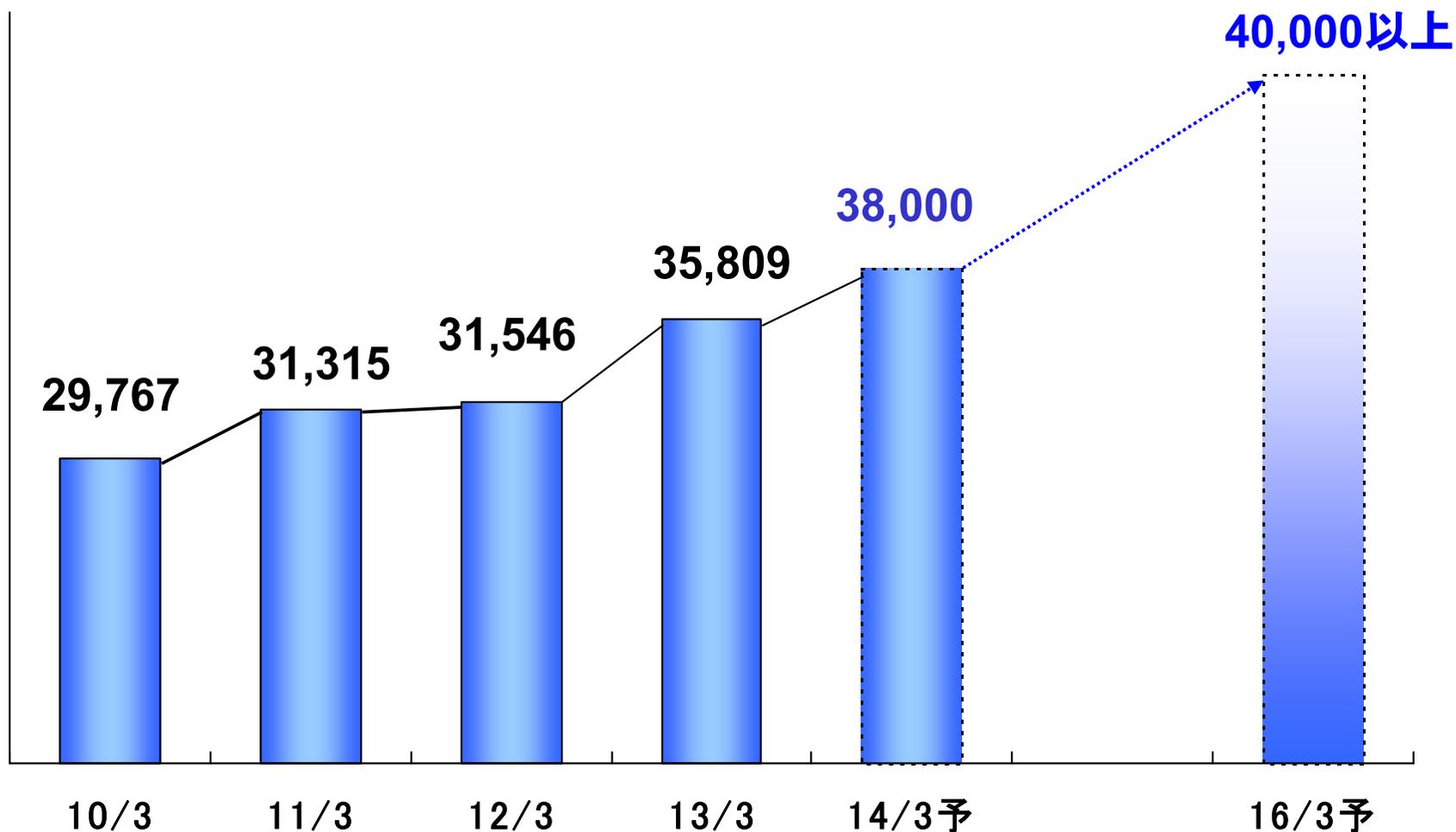
グローバルに生産体制を拡充

2013年3月29日現在

2016年3月期 売上4兆円、営業利益率8%を目指す

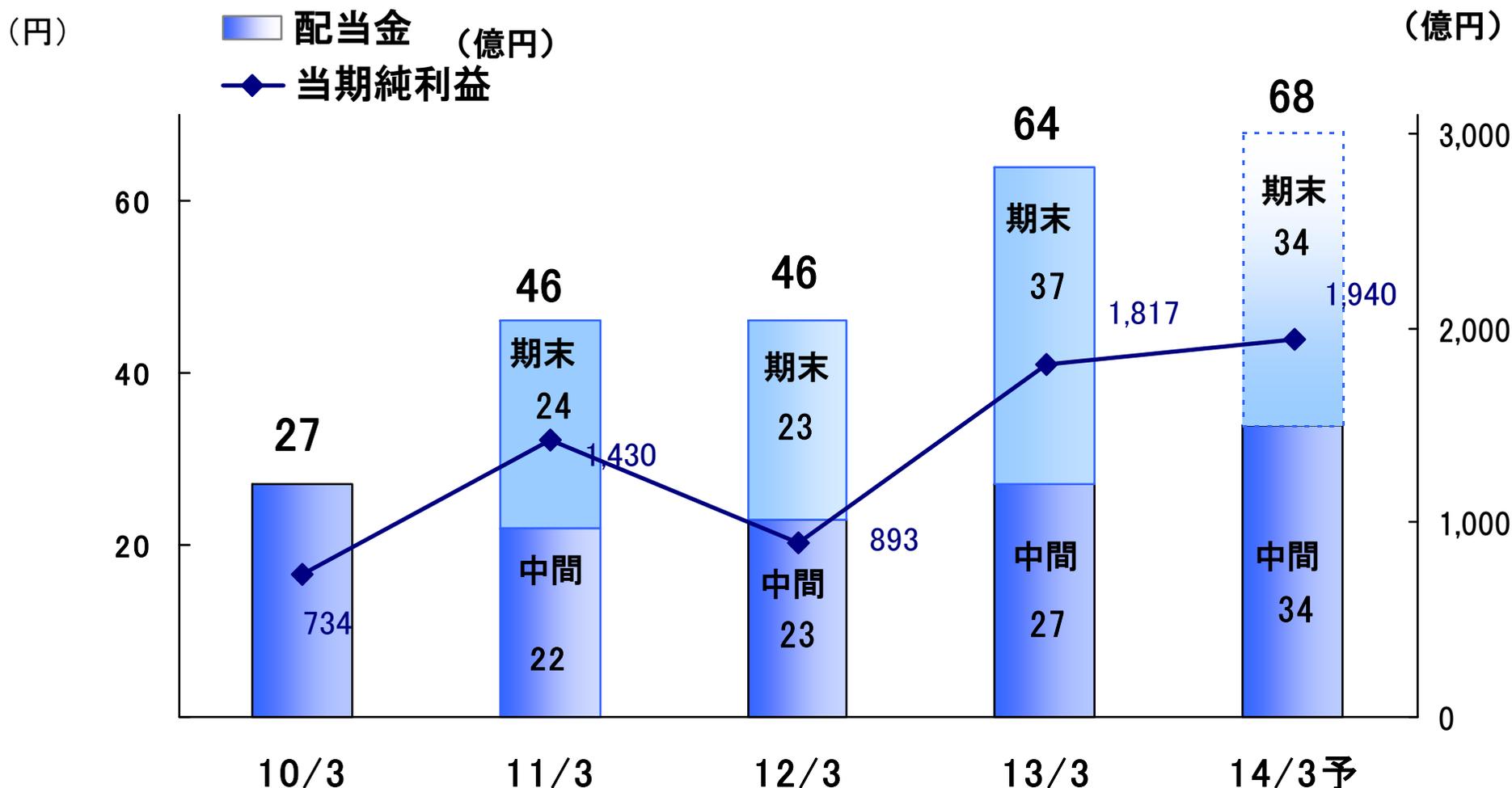
## 売上高の推移

(億円)



13/3期 利益処分 : 12/3期より 18円増配の64円を予定

14/3期 利益処分 : 13/3期より 4円増配の68円を予定



地球と<sup>いのち</sup>生命を守り、  
次世代に明るい未来を届けたい。

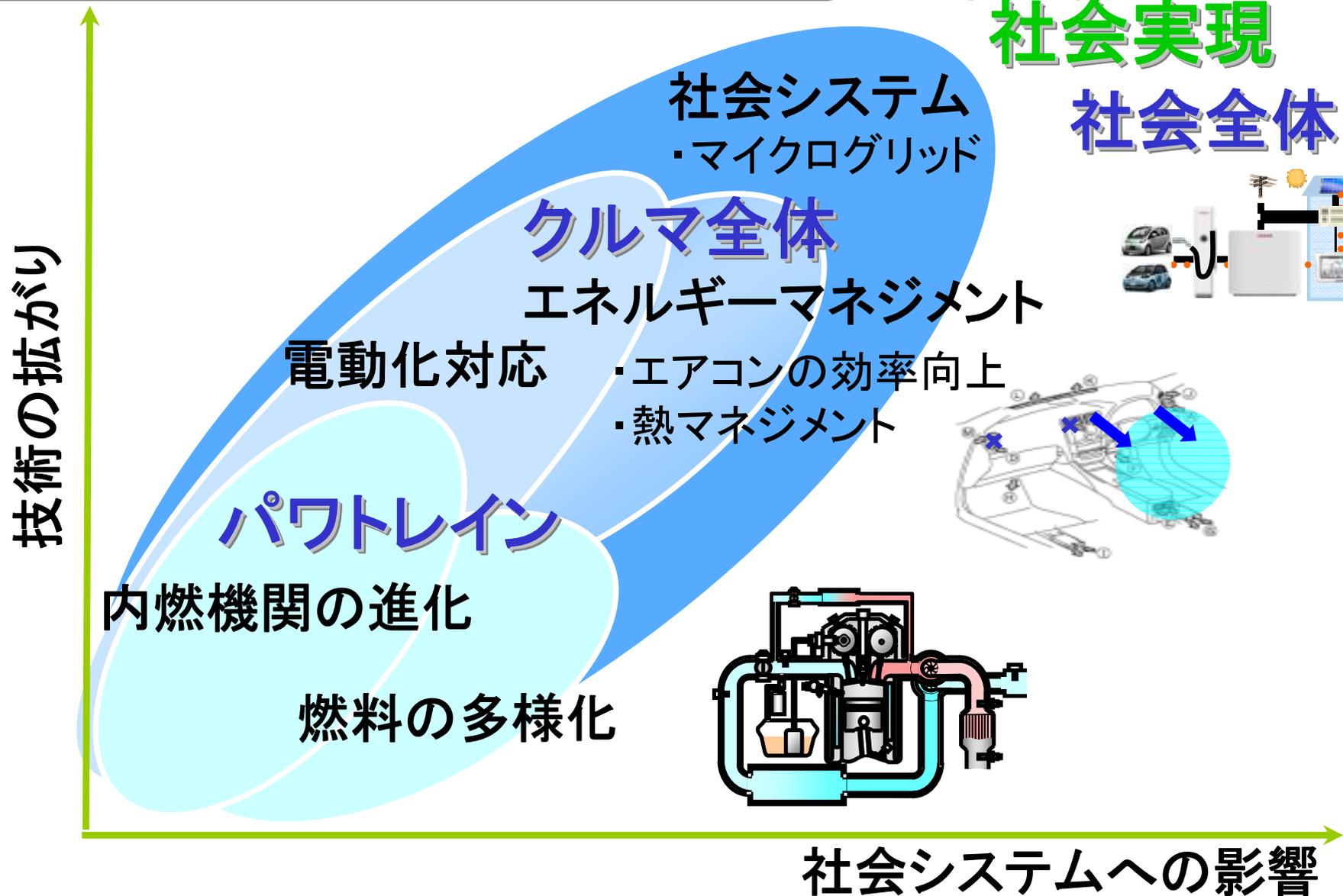


地球環境の維持

安心・安全

にこだわり、今後10年の私達の使命として取り組む

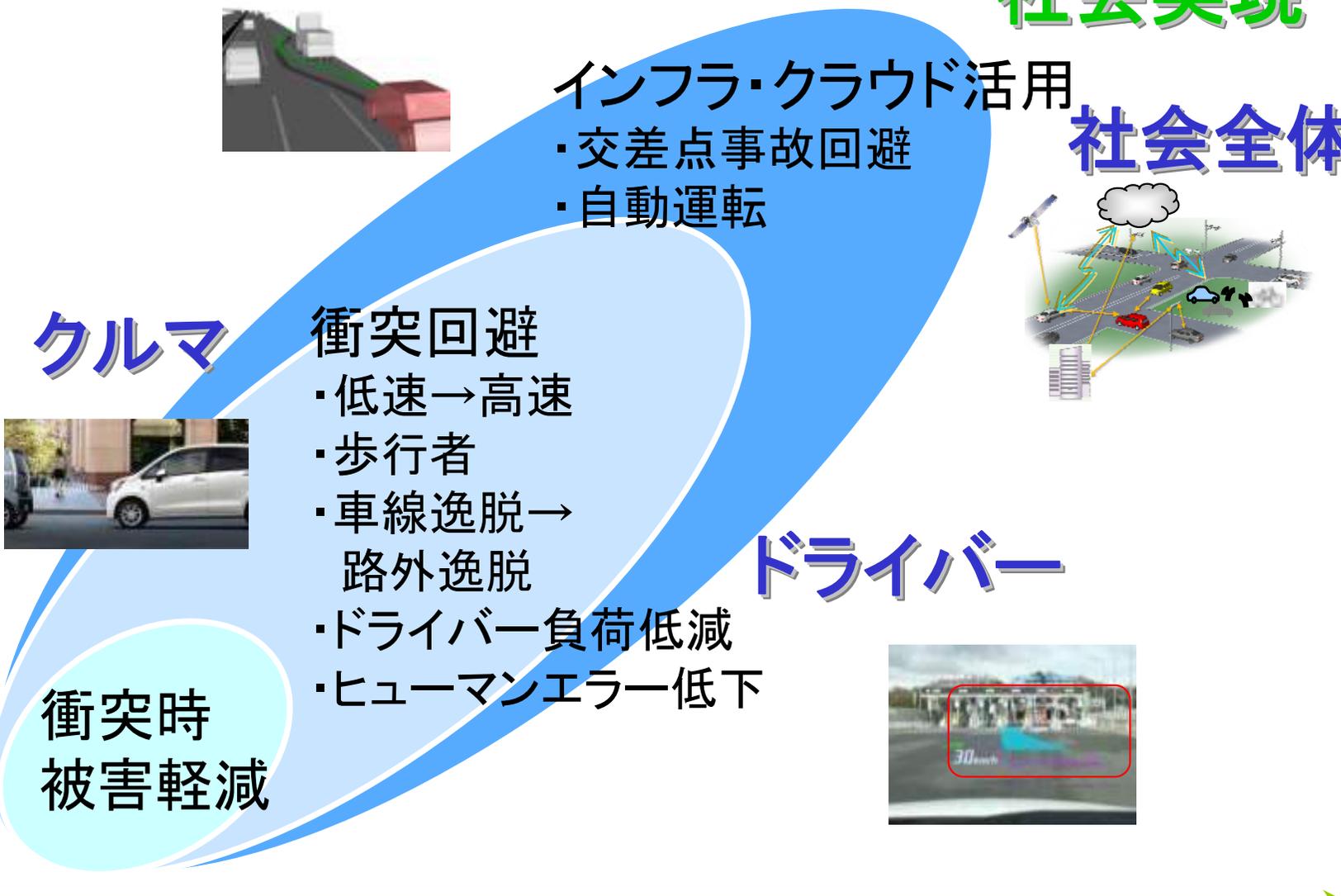
## 環境分野の技術開発の考え方



## 安心・安全分野の技術開発の考え方

# 交通事故ゼロ 社会実現

技術の拡がり



社会システムへの影響

***DENSO***

- ・四半期毎の売上高・営業利益推移
- ・単独決算概要
- ・前提となる為替レート／車両生産台数
- ・得意先別売上
- ・製品別売上
- ・設備投資・償却費・研究開発費

# 四半期毎の売上高・営業利益推移

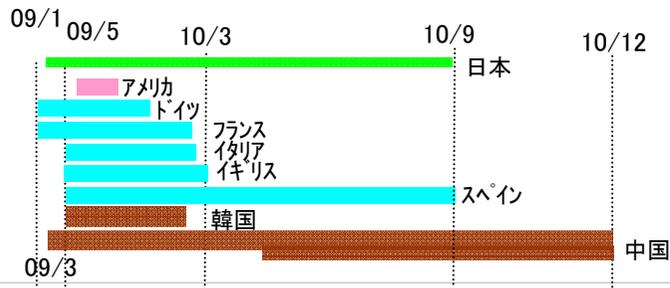
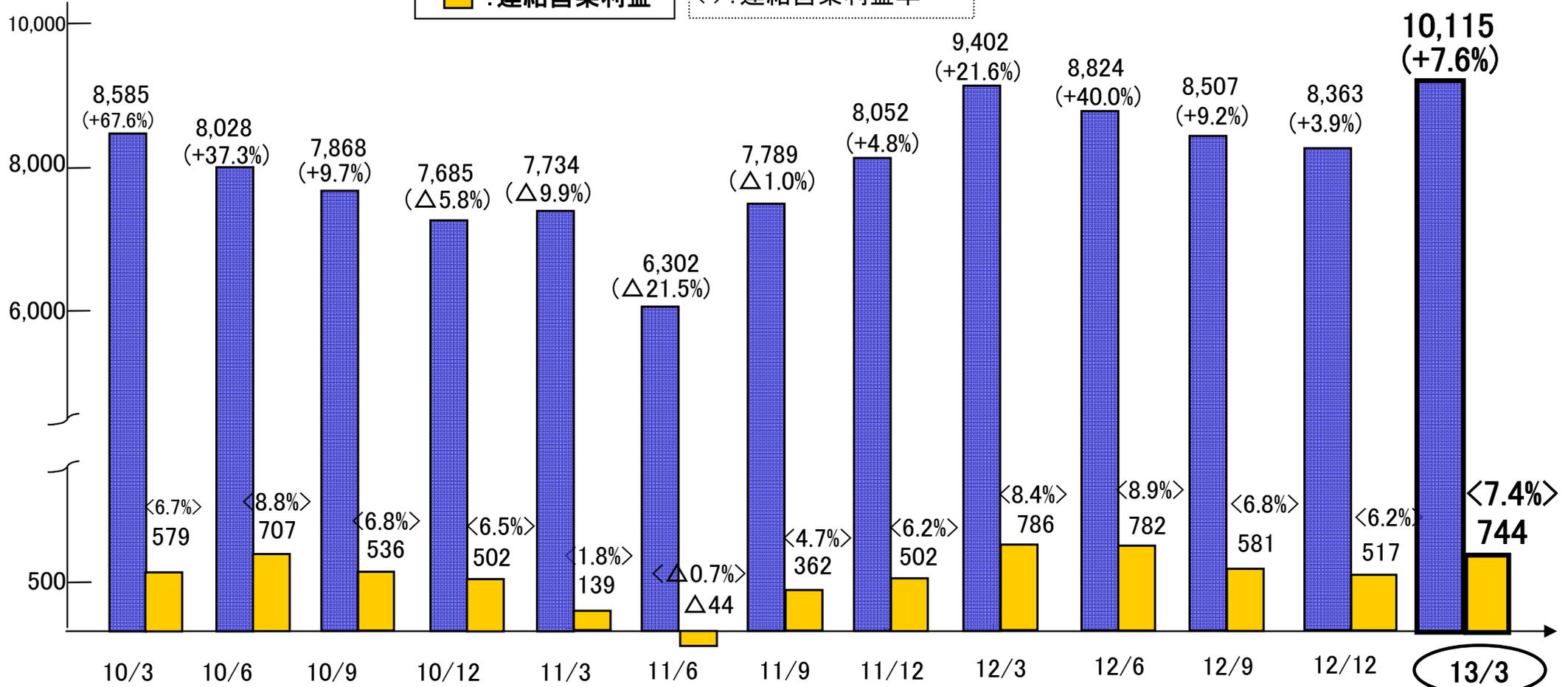
■ : 連結売上高

■ : 連結営業利益

( ) : 前年比 連結売上高

< > : 連結営業利益率

【単位：億円】



<参考>

主な新車買替 補助金 適用期間

# 単独決算概要

## 損益計算書

( )内は売上高比

【単位:億円, %】

科 目	13/3期実績		12/3期実績		前年比		14/3期予想		前年比	
					増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	( 100.0 )	22,768	( 100.0 )	20,316	2,452	12.1	( 100.0 )	23,150	382	1.7
売上原価	( 88.1 )	20,061	( 90.8 )	18,445	1,616					
販売費及び一般管理費	( 6.5 )	1,471	( 6.7 )	1,352	119					
営業利益	( 5.4 )	1,236	( 2.6 )	519	717	138.1	( 6.7 )	1,550	314	25.4
営業外収支		722		621	101			500	△ 222	
経常利益	( 8.6 )	1,958	( 5.6 )	1,140	818	71.8	( 8.9 )	2,050	92	4.7
特別損益		3		△ 11	14			0	△ 3	
税引前当期純利益	( 8.6 )	1,961	( 5.6 )	1,129	832	73.7	( 8.9 )	2,050	89	4.5
当期純利益	( 6.4 )	1,460	( 3.9 )	792	669	84.5	( 6.6 )	1,520	60	4.1

# 前提となる為替レート／車両生産台数

		上期						下期			13/3通期			14/3通期			
		前年実績		当年実績		前年比		前年実績		当年実績	前年比	前年実績		当年実績	前年比	予想	前年比
		前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	予想	前年比		
為替レート (円)	USD	80	79	1円 円高	78	87	9円 円安	79	83	4円 円安	90	7円 円安					
	EUR	114	101	13円 円高	104	114	10円 円安	109	107	2円 円高	120	13円 円安					
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD							29	32	3	28	-4					
	EUR							7	7	-	7	-					
日系車両生産 台数 (万台)	国内	373	474	+27%	516	445	△ 14%	889	919	+3%	904	△ 2%					
	北米	156	247	+58%	239	255	+7%	395	502	+27%	558	+ 11%					
	海外日系車	679	830	+22%	787	833	+6%	1,465	1,663	+14%	1,769	+ 6%					

# 得意先別売上

【単位：億円，％】

区 分	13/3期実績(累計)		12/3期実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ト ヨ タ	16,805	47.0	14,103	44.7	2,703	19.2
ダ イ ハ ツ	1,007	2.8	927	2.9	79	8.6
日 野 自 動 車	508	1.4	464	1.5	44	9.6
<b>トヨタグループ計</b>	<b>18,320</b>	<b>51.2</b>	<b>15,494</b>	<b>49.1</b>	<b>2,827</b>	<b>18.2</b>
本 田 技 研	2,487	7.0	1,971	6.2	515	26.1
G M	906	2.5	833	2.6	73	8.8
現 代 ・ 起 亜	903	2.5	779	2.5	124	15.9
ス ズ キ	868	2.4	779	2.5	88	11.3
富 士 重 工	730	2.0	553	1.7	177	32.0
フ ォ ー ド	723	2.0	599	1.9	124	20.7
フ ィ ア ッ ト	675	1.9	777	2.5	△ 102	△ 13.1
マ ツ ダ	664	1.9	548	1.7	116	21.1
ク ラ イ ス ラ ー	613	1.7	538	1.7	75	13.9
V W ・ A U D I	612	1.7	595	1.9	17	2.8
い す ゞ	512	1.4	435	1.4	77	17.8
三 菱 自 動 車	454	1.3	469	1.5	△ 15	△ 3.2
日 産 自 動 車	402	1.1	339	1.1	63	18.6
B M W	294	0.8	280	0.9	14	5.0
ベ ン ツ	248	0.7	217	0.7	31	14.5
ジャガー・ランドローバー	179	0.5	184	0.6	△ 6	△ 3.0
P S A	146	0.4	159	0.5	△ 13	△ 8.2
そ の 他 メ ー カ ー	2,465	6.9	2,586	8.2	△ 120	△ 4.7
<b>O E M 計</b>	<b>32,200</b>	<b>89.9</b>	<b>28,136</b>	<b>89.2</b>	<b>4,065</b>	<b>14.4</b>
※ 市 販 ・ 新 事 業 他	3,609	10.1	3,411	10.8	198	5.8
<b>合 計</b>	<b>35,809</b>	<b>100.0</b>	<b>31,546</b>	<b>100.0</b>	<b>4,263</b>	<b>13.5</b>

※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む

# 製品別売上

【単位：億円，%】

区 分	13/3期実績(累計)		12/3期実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ハ°ワトレイン機器計	12,382	34.6	10,602	33.6	1,781	16.8
熱 機 器 計	10,575	29.5	9,404	29.8	1,172	12.5
情 報 安 全 計	5,769	16.1	5,346	17.0	423	7.9
電 子 機 器 計	3,421	9.6	2,854	9.0	566	19.8
モ ー タ	2,560	7.2	2,309	7.3	251	10.9
そ の 他 ※	517	1.4	456	1.4	61	13.4
自 動 車 分 野 計	35,224	98.4	30,970	98.1	4,254	13.7
産 業 ・ 生 活 関 連 機 器	427	1.2	426	1.4	1	0.2
そ の 他	158	0.4	150	0.5	8	5.3
新 事 業 分 野 計	585	1.6	576	1.9	9	1.6
合 計	35,809	100.0	31,546	100.0	4,263	13.5

※ 設備売上、補修品、子会社オリジナルブランド製品等

# 設備投資・償却費・研究開発費

【単位：億円】

		12/3期 実績	13/3期 実績	増減率	14/3期 予想	増減率
設備投資	日本	1,031	1,243	20.6%	1,300	4.6%
	北米	122	205	68.0%	320	56.1%
	欧州	187	191	2.1%	210	9.9%
	豪亜	382	626	63.9%	700	11.8%
	その他	72	41	▲43.1%	70	70.7%
	合計	1,794	2,306	28.5%	2,600	12.7%
償却費	日本	1,344	1,315	▲2.2%	1,350	2.7%
	北米	146	145	▲0.7%	180	24.1%
	欧州	111	107	▲3.6%	130	21.5%
	豪亜	185	222	20.0%	270	21.6%
	その他	21	23	9.5%	30	30.4%
	合計	1,806	1,811	0.3%	1,960	8.2%
研究開発費 (売上高比)		2,984 (9.5%)	3,355 (9.4%)	12.4%	3,500 (9.2%)	4.3%